都市再生整備計画

南彦根駅周辺地区 (都市再構築戦略事業)

滋賀県 彦根市

平成31年3月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	滋賀県	市町村名	彦根市	地区名	南彦根駅周辺地区(都市	ī再構築戦 畔	各事業)	面積	27.3	ha
計画期間	平成 30) 年度 ~	平成 3	4 年度	交付期間	平成	30 年度 ~ 平成	34	年度	

日標

大目標: 南彦根駅周辺の利便性を活かした『健康・スポーツ』や『文化・交流』による都市核の賑わい強化

目標1:『健康・交流拠点を活かした元気増幅のまちづくり』

;健康・スポーツや文化・交流活動の拠点を中心に、子ども・若者から高齢者まで広く、元気・生きがい活動や地域内外の交流が日常的に行われ、豊かなライフスタイルの実現を支援していくような文化・スポーツが暮らしに息づく 賑わいあるまちを目指す。

目標2:『駅を中心とした安心居住のまちづくり』

:公共交通の利便性を活かした公共公益施設等を利用しやすい環境づくりや、拠点施設整備と連動した防災機能の強化など、高齢社会でも安心できる暮らしやすいまちを目指す。

;南彦根駅周辺の公共公益施設や大規模商業施設の既存集積と、駅・交通結節点に隣接する公共交通の利便性を最大限に活かし、立地適正化計画に基づく都市機能誘導区域と居住誘導区域の設定により、

本地区の都市機能と人口密度の維持による、持続性の高いまちを目指す。

目標3:『地域への愛着を育む先導環境づくり』

;新たな拠点施設の整備と既存の福満公園との一体的な整備によるパブリックスペースの確保とともに、地域の歴史文化や水辺等の資源と連携した、歩きたくなる散策路等の整備や高質な景観形成により、

健康づくりや地域への愛着を醸成する先導環境を目指す。

目標設定の根拠

|都市全体の再構築方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための再構築方針)

本市は、これまで順調に人口が増加し続けてきたが、ほぼピークを迎え、今後は長期にわたり人口の減少と高齢者の増加が続くことが予測されている。このまま人口減少が続くと、商業施設のように一定の商圏を必要とする民間施設の経営を圧迫 し、毎日の食料品の買い物など、生活に必要な施設の撤退にもつながりかねない。また、通勤や通学等で公共交通を日常的に利用する層の減少は、鉄道やバスの運行本数の減便や駅の無人化といったサービスの低下を招き、公共交通の利用者離れに拍車をかけかねない。

このようなことから、本市は、立地適正化計画を策定し、「伝統と革新で未来を紡ぐ都市〜駅を中心とした新しい生活空間の創造〜」を理念とし、5つの方針(方針①都市核における、都市機能の充実した市街地の形成 方針②旧城下町等の中心市街地における「21世紀型城下町」の創造 方針③地域核における、利便性の高い市街地の形成 方針④安心して生活できる居住環境の形成 方針⑤充実した公共交通環境の構築)により多極集約・連携型の都市づくりを進めているところである。そのうち南彦根駅周辺は、彦根駅周辺とともに本市の都市核としていることから、新市民体育センター(体育館・地域交流センター合築施設)を中心とした区域を中心拠点区域と位置づけ、都市機能の充実した市街地の形成に取組むものである。また、公的不動産の活用については、本市は「彦根市公共施設等総合管理計画」を策定し、将来のまちのあり方を見据えた公共施設の総合的なマネジメントを進めており、公共施設の再配置については、市役所の耐震改修と分散機能の集約化、体育館・地域交流センターの合築施設整備等に取組んでいるが、今後、民間施設との複合化など、民間活力を導入した新たな手法も検討していく予定である。

まちづくりの経緯及び現況

●地区の現状

- ・当該地区は、JR彦根駅周辺の中心市街地の南西に位置し、駅間は鉄道利用で約3分、車利用で約10分と近く、利便性に優れた地区である。
- ・JR南彦根駅周辺は、西口周辺では、駅周辺や幹線道路沿道の一部に小規模ではあるが店舗、飲食店、ホテル等の商業・業務施設が立地しており、地区内には市民交流の場であるひこね燦ぱれすや彦根地方合同庁舎、小学校、保育園が、 隣接地区には彦根中央病院、彦根市消防本部が、東口周辺では、大規模店舗など商業施設が集積しているなど、本市の新たな都市核として発展してきた。
- ・利便性が良いことから駅周辺には都市近郊の良好な住宅地が広がっている。
- ・駅西口近くには福満公園(都市公園)があり、地域の歴史性を感じることのできる公園として、また、憩いやイベント等の場として、地域住民に親しまれている。
- ●近年の取組み
- ・現在、彦根城の北部に位置する体育センターは、平成36年開催の第79回国民スポーツ大会の主会場整備により、ひこね燦ぱれす南側隣接地の市有地も含めた区域(約3.5ha)に移転整備することになった。また、その移転整備については、平成28年9月に

。 発定した彦根市新市民体育センター整備基本計画において、ひこね燦ぱれすの代替施設と合築整備することが示され、「人と人が集う集う"まちなか交流の拠点"としての施設」がコンセプトに加わり、体育館と地域交流施設の複合施設として 整備することになった。

・平成36年開催の第79回国民スポーツ大会においても、当新市民体育センターでハンドボールと弓道の競技開催が予定されていることから、施設の利用者拡大および地域の賑わいへの期待が高まっている。

課題

- ●南彦根駅周辺における都市拠点としての都市機能の充実
- ・南彦根駅東口周辺は、大規模店舗等が集積して賑わいを形成しているが、駅西口周辺は駅周辺や幹線道路沿いに商業施設等が点在するのみで、魅力ある店舗・飲食・サービス施設等の集積性は乏しく、公共交通の利便性や様々な 公共公益施設の立地を活かした都市拠点とはなっていないことから、更なる都市機能の充実が必要である。
- ●新市民体育センター周辺の拠点機能の整備
- ・ひこね燦ぱれすは、平成3年に雇用・能力開発機構によって整備され、平成14年に本市が払い下げを受けた施設であるが、建設から約25年が経過し大規模な修繕対応が必要となってきているため、彦根市公共施設等総合管理計画で示す 「他施設との複合化を図る」という基本的な方針に基づき、新たに整備する新市民体育センター機能と合わせて、一体的な整備が必要である。
- ・ひこね燦ぱれすは、本市防災計画において指定緊急避難場所に指定されており、隣接する市立城南小学校(指定避難所・指定緊急避難場所)と合わせて当地域における避難の拠点となっている。この機能は新たな施設に引き継ぐことになるが、 さらに近年の防災意識の高まりから機能の強化が必要である。
- ・新市民体育センター整備に際しては、室内スポーツや市民交流の拠点としての機能整備を進め、競技スポーツ・生涯スポーツの振興や、多様な世代の交流や生きがい活動の場として、まちや地域の活性化に積極的につなげていくことが必要である。
- ・新市民体育センター利用者による交通量増加に対し、既存の通学路の安全確保や地域交通との共生に留意した円滑な交通対策が必要である。
- ■公共交通利便性や都市機能集積を活かした、質の高い生活環境の提供
- ・超高齢社会への対応も踏まえつつ、公共交通利用の利便性向上(バスサービス充実、駐輪スペース集約強化など)や、公共施設等のバリアフリー化など、自動車以外の移動のしやすさや公共施設等の利用のしやすさに留意したまちづくりを進めて いくこと
- が必要である。
- ・福満公園(都市公園)は、一部施設・設備の老朽化が進んでいるとともに、対象地区は全体的に、地域の魅力を感じるような、景観スポットや広場、まとまった緑地、シンボリックな空間、散策路等に乏しい。このことから、既存の公園等の活用も 含めて、そうした都市空間の確保とともに、拠点施設や地域資源等を結ぶ回遊環境の充実や、良好な景観形成など、駅西側の魅力の演出・強化や生活環境の充実が必要である。

将来ビジョン(中長期)

【彦根市総合計画・後期基本計画(平成28年7月)】

●子ども・若者の健やかな成長と、自立にかかわる支援に取組み、地域社会全体で子ども・若者の元気を応援します。

【彦根市都市計画マスタープラン(平成29年3月)】

- ●都市核と位置づけられている南彦根駅周辺は、多極的なコンパクトシティ形成のため都市機能の充実を図るとともに、南彦根駅周辺に既に立地している商業施設の集積を活かし賑わいの創出を目指します。
- ●南彦根駅における交通結節点機能の充実、路線バスの拡充と機能向上、バリアフリー化などの歩行者空間の充実に関わる取組を進めます。
- ●新市民体育センターの整備を契機として、南彦根駅周辺の一体的な整備によりまちのにぎわいにつなげます。
- ●生涯スポーツ振興のための環境づくりなど地域住民が積極的に出かけられる環境を充実し、健康で活動的に暮らせるまちづくりを目指します。
- ●まちの強みを発揮させる「個性・輝き」への取組を重視し、歴史文化や自然の保全と活用、地域特性を踏まえた景観形成の取組に努めます。

【彦根市都市交通マスタープラン(平成29年3月)および彦根市総合交通戦略(平成30年3月大臣認定)】

- ●主要なバス停ではバスの運行情報が表示され、安心してバス待ちが出来るようバスロケーションシステムの構築に取り組みます。
- ●健康志向の高まりにより利用者が増加している自転車に対し、自転車走行空間の確保とともに交通結節点などでの駐輪場の整備を促進します。
- |●市街地内の道路では、高齢者や障害者などを含む全ての方が安全・安心して移動できる歩行空間の整備に取り組みます。また、沿道の土地利用と一体となった道路景観が構成できるように舗装や道路の修景に取り組みます。
- ●将来を担う子供たちの命を守るため、通学路の安全確保を図ります。

【彦根市スポーツ推進計画(平成29年3月】

●誰もが気軽に訪れ、交流が図れる"スポーツを通じた健康複合施設"としてJR南彦根駅西側に整備することから、その立地を活かした施設とするとともに、地域や各種団体等と連携しながら、まちの賑わいの創出等をめざします。

都市再構築戦略事業の計画

都市機能配置の考え方

・本市は、JR4つの駅を中心として発展してきた都市であるため、4つの駅に都市機能がすでに集積している状況である。今後もその集積状況を維持進展させるため、彦根市立地適正化計画に基づき都市機能誘導区域内については、新たな都市機能の集積と公共施設の積極的な駅周辺立地を進めていく。なお、郊外部については、用途地域としても工業地域や工業専用地域を指定しているため、用途地域に沿った工場等の企業立地に努める。 ・中心市街地は、本市が歴史的に広域圏の中心都市であったが、現在は衰退傾向にあることから、商店街や企業の支店等を中心とした経済機能を維持するとともに、彦根市歴史的風致維持向上計画に基づき歴史的なまちなみを保全・活用しながら、

中心市街地の活性化に繋げる。 ・都市機能誘導区域外については、本市全体で見られる人口減少、高齢化の傾向が見られる地域であるため、地域コミュニティの維持を図りながら、公共交通の強化により容易にアクセスできる環境を整える。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な中心拠点誘導施設及び生活拠点誘導施設の考え方

南彦根駅周辺での「中心拠点区域」については、体育館と地域交流センターの合築施設である彦根市新市民体育センターを中心に、都市核としての強化を図るものであり、特に体育館については、中心拠点誘導施設として、集客効果も高いことから賑わい創出の中心となるもので、同時に、健康増進施設として、周辺の公園整備と連携したウォーキングコースやランニングコースの設定など、駅に隣接した地域で市民の元気増幅のまちづくりに繋げる。 また、高次都市施設(地域交流センター)との合築によって、相互利用も可能となることから健康文化拠点として大きな役割を担う施設である。

都市再生整備計画の目標を達成するために必要な交付対象事業

]	T## -	<u>,</u>		71.	ł	7	Ţ	工無
\blacksquare	程之	γπ	軍	1r.	d	ゟ	捛	釋

宗で 足里 化り る 田 保							
指 標	単 位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
新市民体育センター利用者数	人/年	新市民体育センターの年間利用者数 (従前値は、現在の市民体育センター、弓道場、ひこね燦 ばれすの合計値)		142,955	H27	197,000	H34
賑わい環境の市民不満足度	%	アンケート調査で「賑わい」についてどのように感じているかという満足度の問いに対する評価	目標1 拠点施設や交流活動の充実により、まちの賑わいに対する不満足 度の減少を目指す	40.4	H29	32.0	H34
JR南彦根駅の1日乗客数	人/日	JR南彦根駅の1日乗客数	目標2 交流拠点施設整備等により、鉄道利用者の増加を目指す	5,528	H27	6,000	H34
安心して暮らせる環境の市民不満 足度	%	「ノノート調宜で」女心して春りせる現場」についてとい	目標2 歩行者・自転車や公共交通利用者の支援により、安心して暮らせ る環境に対する不満足度の減少を目指す	37.9	H29	30.0	H34
歩きたくなる環境の市民不満足度		アンケート調査で「歩きたくなる環境」についてどのように 感じているかという満足度の問いに対する評価	目標3 回遊環境の充実により、歩きたくなる環境に対する不満足度の減 少を目指す	48.6	H29	39.0	H34

様式2 整備方針等

の促進のモデルとなるような取組みを進める。

計画区域の整備方針 方針に合致する主要な事業 整備方針① スポーツ・文化・交流拠点を中心に、賑わいや元気を高める地域づくり 【基幹事業】 ●スポーツ施設と地域交流センターの合築整備により、健康・体力づくりや競技スポーツの振興、子ども・若者から高齢者まで幅広い層の元気や生きが ●高次都市施設整備(地域交流センター合築整備) い活動の支援、健康スポーツや文化活動を通じた多彩な交流の活性化など相乗効果の高い取組みを推進し、市民や地域住民の豊かなライフスタイル ●道路(市道小泉城南小学校線道路改築(歩道修景舗装、地下道改修含む)) ●公園(都市公園(福満公園)再整備(~H30) (QOL)の実現を図る。 ●高質空間形成施設整備(市民広場、お祭り広場、交流ストリート等) ●地域交流の場である「ひこね燦ぱれす」の代替施設として地域交流センターを合築整備することにより、スポーツ・文化の交流や駅周辺の利便性を活 ●地域生活基盤施設整備(案内サイン整備)(区域内) かしたまちの賑わいを創出する。 【関連事業】 ●関係団体や企業、大学・学生等と連携しつつ、市民が主体となってプログラムの充実・実施や、人材育成・学習に取組み、当該施設を中心とする活動 ●中心拠点誘導施設整備(体育館合築整備) を協働で成長させ、利用者が更に拡大していく体制づくりを図る。 ●市道小泉庄堺線道路改築(歩道修景舗装、休憩スポット整備含む):関連社会資本整備事業 ●都市公園(福満公園)再整備:効果促進事業(H31~) ●拠点施設の利用促進に向けて、初動期の仕掛けが有効であることから、オープニングイベントや季節毎のイベント等の企画・開催を図る。 ●案内サイン整備(区域外):効果促進事業 ●地域健康活動支援施設整備(新市民体育センター内ダンス室):効果促進事業 ●拠点施設利用や、健康・体力づくりの促進を図るため、本拠点施設と周辺の公園や地域資源、駅等を結ぶ散策・回遊ルートの整備や、案内サイン整 ●オープニングイベント開催事業:効果促進事業 備、公園や散策路沿いの低未利用地を活用した健康遊具の設置等により、平坦でコンパクトな地区特性を活かした、日常的な歩行・ジョギング推奨と健 康の地域づくりを図る。 整備方針② 交通結節点機能、公共交通利便性、防災機能強化による定住環境の充実 【基幹事業】 ●公共交通の利便性が高い環境を活かしながら、主なアクセス道路のバリアフリーの向上や、南彦根駅西口における自転車駐車場の増設によって、自 │●道路(市道小泉城南小学校線道路改築・歩道修景舗装、地下道改修含む) 動車利用に過度に依存せず、鉄道・バスや自転車・徒歩等で、拠点施設や幹線道路沿道等の商業施設等を利用しやすい環境づくりを図る。 ●地域生活基盤施設整備(地域防災施設整備(非常用電源設備等・マンホールトル等)) ●健康・交流拠点整備に伴う交通量増加に対し、安全な通学路の確保を図るため、拠点施設北部のアクセス道路について改築を行い、適切な交通処理【関連事業】 ●市道小泉庄堺線道路改築(歩道修景舗装、休憩スポット整備含む):関連社会資本整備事業 を図る。 ●下水道施設耐震対策:効果促進事業 ●新市民体育センターは、本市の新たな防災拠点(指定避難所・指定緊急避難場所・物資配送拠点)となることから、適切な防災施設・設備の整備に ●バスロケーションシステム情報表示盤整備(西口・東口):効果促進事業 よって地域防災・避難機能の強化を図るとともに、新市民体育センターや福満公園においては防災施設としてマンホールトイレを設置することから、その下流 ●自転車駐輪場増設 にあたる下水道施設についても耐震化によって、防災機能の向上を図る。 ●バリアフリー整備(市道小泉庄堺線)(~H30) ●福満公園の再整備においては、新市民体育センターと連携しつつ、防災機能の強化を図る。 ●駅前、幹線道路沿道、新市民体育センター整備敷地内について、立地適正化計画に基づき、都市機能誘導区域に設定し、居住利便性や賑わい向上 に資する都市機能誘導施設の立地誘導を図る。 ●バスの運行情報を表示するバスロケーションシステムの情報表示盤の整備により、誰もがバスを安心して利用できる環境づくりを図る。 整備方針③ 拠点を中心とする良質な景観と地域資源に親しむ回遊環境の創造 【基幹事業】 ●地域を代表する福満公園について、老朽化が進む一部施設・設備の改修を行うとともに、市民意向を踏まえつつ、拠点施設との一体的かつ日常的な。 ●高質空間形成施設整備(市民広場、お祭り広場、交流ストリート等)【再掲】 利用促進が可能な公園として再整備を行うことで、健康運動支援、高質な景観形成、歴史性の演出を図る。 ●公園(都市公園(福満公園)再整備(~H30)【再掲】 ●道路(市道小泉城南小学校線道路改築·歩道修景舗装、地下道改修含む)【再掲】 ●新市民体育センター敷地内の緑化と個性的な景観整備を進めるとともに、JR南彦根駅、福満公園、新市民体育センターを結ぶ散策・回遊軸におい ●地域生活基盤施設整備(案内サイン整備)(区域内)【再掲】

【関連事業】

●市道小泉庄堺線道路改築(歩道修景舗装、休憩スポット整備含む):関連社会資本整備事業【再

●都市公園(福満公園)再整備:効果促進事業(H31~)【再掲】 ●案内サイン整備(区域外):効果促進事業【再掲】

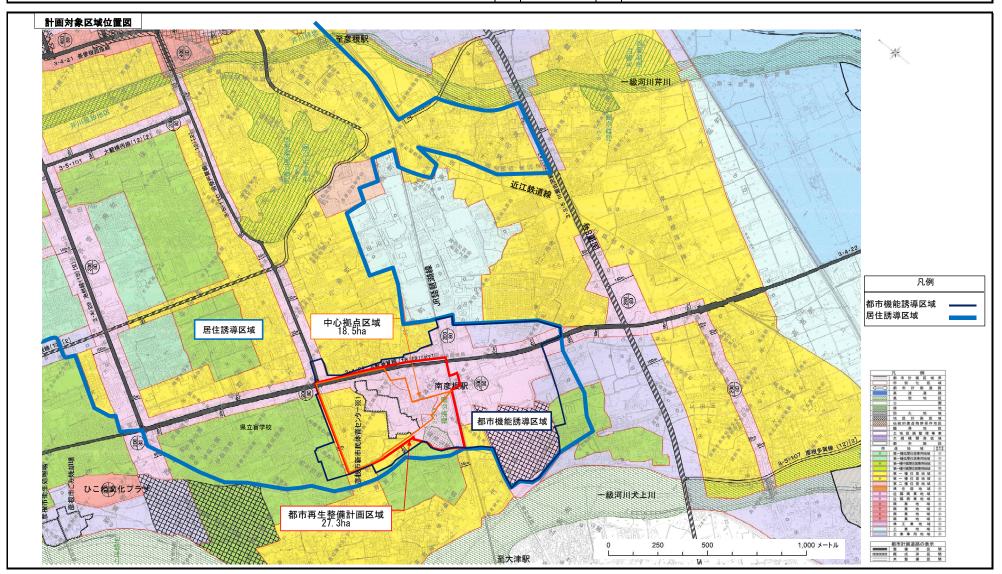
て、景観に配慮した歩道舗装や案内サイン整備、地域住民との協働による花を活かした景観美化を進めるなど、地域内の一層の良質な景観形成活動

事	業実施における特記事項
	【まちづくりの住民参加】 ・新市民体育センターの外構は、都市の高質空間として整備するため、その設計についてはワークショップなど住民参加によって進めている。また、植栽などについては、住民による植樹などを検討しているところであり、住民参加で整備した施設として愛着を持っていただきながら、にぎわいの創出に繋げたいと考えている。
	【官民連携事業】

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

事業													(金額0)	単位は百万円)	
事業	/a-7.5	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)	事業期間	交付期間に	事業期間	(参考)全体	交付期間内	(s. + s is o 1	5. 5.5.5.0	交付対象	事業例
	細項目	市道小泉城南小学校線	彦根市	直	L=90m	開始年度 H29	終了年度 H34	開始年度 H30	終了年度 H34	事業費 90	事業費 90	うち官負担分 90	うち民負担分	事業費 90	B/
道路 公園		都市公園(福満公園)	彦根市	直	A=1.2ha	H30	H34	H30	H30	150	7.2	7.2		7.2	
	地保全等事業	和印公園(福凋公園)	尼恨 巾	世	A=1.2ha	H30	H34	H30	H30	150	1.2	1.2		1.2	_
可川	地体王守尹未														
··//// 下水道															
T·小坦 駐車場有効利	祖田シュフテ /			1											-
红半物件 刈心	リカンヘナム			-	JL 34 D (D 7E										
地域生活基盤	备施設	新市民体育センター地域防災施設整備	彦根市	直	非常用電源 設備(72h対 応)・マンホールト 化(15基)等	H32	H33	H32	H33	80	80	80		80	
		案内サイン整備	彦根市	直	大小4基	H33	H34	H33	H34	10	10	10		10	
高質空間形成	艾施設	新市民体育センター各広場等	彦根市	直	約11,000㎡	H28	H34	H33	H34	300	300	300		300	
高次都市施設	Ç.	地域交流センター合築整備	彦根市	直	延床面積 約2,500㎡ 共用部 約800㎡	H28	H34	H30	H34	8,004	1,660	1,660		1,660	
中心拠点誘導	夢施設														
連携生活拠点				1			l					ļ t		1	
生活拠点誘導				1								<u> </u>		1	
高齢者交流拠				1	1										
	5用事業(高次都市施設)			1	İ									1	
土地区画整理				1								<u> </u>		1	1
市街地再開発				1								<u> </u>		1	1
住宅街区整備				1	1							<u> </u>		1	
	環境整備事業														
憂良建築物等															
王乇巾街地 :	拠点開発型 沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														1
事なみ環境整 対なみ環境整															
住宅地区改良															
都心共同住宅															
公営住宅等整															
都市再生住宅															
防災街区整備															
合計															
	# 学术									8 634	2 147 2	2 147 2	0	21472	
	## # ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## #									8,634	2,147.2	2,147.2	0	2,147.2	
	## * * * * * * * * * * * * * * * * * * *									8,634	2,147.2	2,147.2	0	2,147.2	1
事業	HTX					(参差)]	工業期間	交付期間に	事業期間			2,147.2	0		1
事業事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模		事業期間 終了年度	交付期間に開始年度		(参考)全体	交付期間内			交付対象	<u> </u>
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模		事業期間 終了年度	交付期間F 開始年度			交付期間内	2,147.2	うち民負担分		}
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業 事業 地域創造		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業 事業 地域創造		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業事業地域創造大援事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業 事業 地域創造 支援事業 事業活用		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業事業地域創造大援事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業 事業 地域創造 支援事業 事業活用		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費	
事業 事業 地域援事業 事業調 まちづくり活		事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体	交付期間内			交付対象 事業費 0 0	
事業事業地域影響等地域影響等等。		事業箇所名	事業主体	直/問	規模					(参考)全体	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象 事業費 0 0	
事業 事業 事業 地域援事 事業調 づくり事 ま動推進 ま動推進	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模					(参考)全体 事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象 事業費 0 0	8
事業 事業 地域援事業 事業調 活査 まちづくり事業 動推進事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模		終了年度	開始年度		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 事業 地域援事業 調が選集 事調ができる。 まずでは、事業 計計	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	(参考)全体 事業費 0	交付期間内 事業費 0	35官負担分 0	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 地域制造 事業 が が 事業 が が も が も が も う り り り り り り り り り り う る り う り う り う り	細項目	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模		終了年度	開始年度 かに〇) 地方単独		(参考)全体 事業費 0	交付期間内 事業費 0 期間 終了年度	うち官負担分 の 全体事業費	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 地域創造 事業活用 事業活用 まお推進事業 計削運事業 新市民体育セ	細項目 細項目 事業 2ンタ一整備(中心拠点誘導施設)	事業箇所名体育館合築整備	事業主体 彦根市	所管省庁名 文部科学省	規模 超床面積約10,400㎡	開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28	交付期間内 事業費 0 期間 終了年度 H34	うち官負担分 0 2 全体事業費 5,357	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 地域劇事業 地支援事業調査 (1活業 事業調査 (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業 計工) (1活業	細項目 事業 2ンター整備(中心拠点誘導施設)	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線	事業主体 彦根市	所管省庁名 文部科学省 国土交通	規模 延床面積約10.400㎡ L=330m	開始年度	終了年度 (いずれ 補助	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29	交付期間内 事業費 0 期間 終了年度 H34 H30	35官負担分 0 2体事業費 5,357 14	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 地域制造 事業 地支援事業 事業活所 まりが送進事業 所市民体存等 が新市民体存等権	#項目 #薬 2ンター整備(中心拠点誘導施設) ※バリアンリー整備(社会資本整備・追路) ※を優布業。が通道路改築	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線	事業主体 彦根市 彦根市	所管省庁名 文部科学省 国土交通省 国土交通省	規模 延度面積約10.400m L=330m L=330m	開始年度	終了年度 (いずれ 補助	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 間始年度 H28 H29 H31	交付期間内 事業費 0 0 期間 終了年度 H34 H30 H34	55官負担分 0 全体事業費 5.357 14 77	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 地域制造 支援事業 調査 計選 計選 計選 計選 計選 計選 計選 計 記 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	編項目 事業 2ンター整備(中心拠点誘導施設) 級パリアフリー整備(社会資本整備・道路) 基を備事業)が直が東に環線道路改築 業)都市公園(福満公園)再整備	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 福満公園	事業主体 彦根市 彦根市 彦根市 彦根市	所管省庁名 文部科英通省 国土交通省 国土交通省	規模 延底面積約10,400㎡ L=330㎡ L=330㎡ A=1,2ha	開始年度	終了年度 (いずれ 補助 ○	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 <u>事業</u> <u>開始年度</u> H28 H29 H31 H31	交付期間内 事業費 0 期間 終了年度 H34 H30 H34 H34	55官負担分 0 0 全体事業費 77 14 143	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 地域関事業 地支援事業 事業調査 づ進事業 活用 活業 計画 活業 所市通連年度 保圧原産 保 所・通連年度 全種事 対象果促進事	審集 2ンター整備(中心拠点誘導施設) ②ベリアフリー整備(社会資本整備:追路) ※ベリアフリー整備(社会資本整備:追路) 下整備事業)市道小泉庄堺線道路改業 ※創都市公園 再整備 業)下水道施設耐震対策	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 電海公園 中心拠点誘導施設、福滿公園下流	事業 主 体 彦根根市 彦根根市 彦根市	所管省 庁名省省省省国土交通通道国土交通通国土交通通	規模 延床面積約10.400㎡ L=330m L=330m A=1.2ha L=422m	開始年度	終了年度 (いずれ 補助 ○ ○	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29 H31 H31 H32	交付期間内 事業費 0 <u>期間</u> <u>終了年度</u> H34 H30 H34 H34	うち官負担分 0 全体事業費 5,357 14 77 143 4	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	8
事業 事業 地域制事業 地域制事業 地域制事業 地域制事業 活査 り活業 事業間づび事事 事高原東足促進 事業 が指導事業 で収集 に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業 22/女一整備(中心拠点誘導施設) ※7/37/20 一整備(生心拠点誘導施設) ※7/37/20 一整備(生資本整備-通路) K整備事業) 市道小泉庄邨線道路改築 業) 都市公園 (福海公園) 再整備 業) 地域健康活動支援施設整備	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 福邁公園 中心拠点誘導設、福邁公園下流 新市民体育センター内ダンス室	事業主体 彦根市 彦根市市 彦根根市市 彦根根市	所管省庁名 名 文部科学通省 国土交通省 国土交通省省 省 省 国土交通 国土交通 国土交通 国土交通 国土交通 国土交通 大型 国土交通 大型 医二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	規模 延底面積約10,400㎡ L=330㎡ L=330㎡ A=1,2ha	開始年度	終了年度	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29 H31 H31 H31 H31	交付期間内 事業費 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	55官負担分 0 全体事業費 5.357 14 77 143 4 81	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	
事業 事業 地域制事業 地域制事業 地域制事業 地域制事業 活査 り活業 事業間づび事事 事高原東足促進 事業 が指導事業 で収集 に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	審集 2ンター整備(中心拠点誘導施設) ②ベリアフリー整備(社会資本整備:追路) ※ベリアフリー整備(社会資本整備:追路) 下整備事業)市道小泉庄堺線道路改業 ※創都市公園 再整備 業)下水道施設耐震対策	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 電海公園 中心拠点誘導施設、福滿公園下流	事業 主 体 彦根根市 彦根根市 彦根市	所管省 庁名省省省省国土交通通道国土交通通国土交通通	規模 延床面積約10.400㎡ L=330m L=330m A=1.2ha L=422m	開始年度	終了年度 (いずれ 補助 ○ ○	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29 H31 H31 H32	交付期間内 事業費 0 <u>期間</u> <u>終了年度</u> H34 H30 H34 H34	うち官負担分 0 全体事業費 5,357 14 77 143 4	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	
事業 事業 地域制造 事業 動合計 計 所市に 原本 に が が 別 果 保 佐 進 事業 か 合 計 の が り 活 条 い う り 活 条 の う り え り え り る り み り 果 果 保 の り み り 果 果 保 の り み り み り み り み り み り み り め か め か め か め か め か め か め か め か め か め	事業 22/女一整備(中心拠点誘導施設) ※7/37/20 一整備(生心拠点誘導施設) ※7/37/20 一整備(生資本整備-通路) K整備事業) 市道小泉庄邨線道路改築 業) 都市公園 (福海公園) 再整備 業) 地域健康活動支援施設整備	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 福邁公園 中心拠点誘導設、福邁公園下流 新市民体育センター内ダンス室	事業主体 彦根市 彦根市市 彦根根市市 彦根根市	所管省户名省省省省国土交通通道国土交通通道省省省国土交通通道省省省国土交通通道省省省国土交通通道省省省国土交通通道省省省国土交通通	規模 延床面積約10.400㎡ L=330m L=330m A=1.2ha L=422m 参3150㎡	開始年度	終了年度	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29 H31 H31 H31 H31	交付期間内 事業費 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	55官負担分 0 全体事業費 5.357 14 77 143 4 81	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	
事業 事業 地支援等業 地支援等業 事業調査 が推進事業 所元原東保佐建等 所の が開発を促促進等 が 対象果促促進等 が 対象果果保健 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	審業 2ンター整備(中心拠点誘導施設) 8パリアフリー整備(社会資本整備・適節) 8パリアフリー整備(社会資本整備・適節) 本整備事業)市道小元兵・球線道路改築 業)下水道施設耐震対策 業)地域健康活動支援施設整備 (ポスロケージンステム情報表示盤整備 業) 案内サイン整備	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 福満公園 中心拠点誘導施設、福満公園下流 新市民体育センター内ダンス室 南彦根駅西口、東ロ 中心拠点区域外	事業 程根市市 章程根市市 章程根根根根根根根根根 章移根市市 章根市市	所管省 科兰 在 名 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省	規模 延底面積約10.400㎡ L=330㎡ A=1.2ha L=422㎡ 約150㎡ N=2	開始年度	終了年度(いずれ 補助)(/li>	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29 H31 H31 H32 H31 H32 H33	交付期間内 事業費 0 <u>期間</u> <u>終了年度</u> H34 H30 H34 H34 H33 H33 H33	つち官負担分 の 全体事業費 5.357 143 4 81 12 10	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	8
事業 事業 地域創事業 事業 事業 が選事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業 2ンター整備(中心拠点誘導施設) ※バリアブリー整備(社会資本整備・道路) ※整備事業)市道小泉庄堺線道路改築 業)下水道施設耐震対震 業)地域健康活動支援施設整備 バスロケーションステム情報表示盤整備 業)ネハサイン整備 業)オーブニングイベント開催事業	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 電満公園 中心拠点誘導施設、福満公園下流 新市民体育セシー内ダンス室 南彦根駅西口、東口 中心拠点医域外 中心拠点誘導施設内	事業主 体	所管省学工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	規模 延底面積約10.400㎡ L=330㎡ A=1.2ha L=422㎡ 約150㎡ N=2	開始年度	(いずれ 補助) (いずれ で) () () () () () () () () ()	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29 H31 H32 H31 H32 H33 H34	交付期間内 事業費 0 <u>期間</u> <u>終了年度</u> H34 H30 H34 H34 H33 H33 H33 H33 H34	55官負担分 0 全体事業費 5.357 14 77 143 4 81 12	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в
事業 事業 地域創事業 事業 事業 が選事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業 2ンター整備(中心拠点誘導施設) ②バリアブリー整備(対金資本整備・道路) 素)部市公園(福源公園)再整備 業)下小道施設耐震対策 業)地域健康 素)地域健康 (バスロケーションシステム情報表示盤整備 来)案内サイン整備 来)オーブニングイベント開催事業 業)事業効果分析	事業箇所名 体育館合築整備 市道小泉庄堺線 市道小泉庄堺線 福満公園 中心拠点誘導施設、福満公園下流 新市民体育センター内ダンス室 南彦根駅西口、東ロ 中心拠点区域外	事業 程根市市 章程根市市 章程根根根根根根根根根 章移根市市 章根市市	所管省 科兰 在 名 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省	規模 延底面積約10.400㎡ L=330㎡ A=1.2ha L=422㎡ 約150㎡ N=2	開始年度	終了年度(いずれ 補助)(/li>	開始年度 かに〇) 地方単独	終了年度	(参考)全体 事業費 0 0 事業 開始年度 H28 H29 H31 H31 H32 H31 H32 H33	交付期間内 事業費 0 <u>期間</u> <u>終了年度</u> H34 H30 H34 H34 H33 H33 H33	うち官負担分 0 全体事業費 5.357 14 77 143 4 81 12 10	うち民負担分	交付対象 事業費 0 0	в

都市再生整備計画の区域



南彦根駅周辺地区(滋賀県彦根市) 整備方針概要図

代表的な

指標

大目標: 南彦根駅周辺の利便性を活かした、『健康・スポーツ』や『文化・交流』による都市核の賑わい強化

| 日標 | 目標1:『健康・交流拠!

目標1:『健康・交流拠点を活かした元気増幅のまちづくり』

目標2:『駅を中心とした安心居住のまちづくり』 目標3:『地域への愛着を育む先導環境づくり』

新市民体育センター利用者数	(人/年)	142,955	(H27年度)	\rightarrow	197,000	(H34年度)
賑わい環境の市民不満足度	(%)	40.4	(H29年度)	\rightarrow	32.0	(H34年度)
JR南彦根駅の1日乗客数	(人/日)	5,528	(H27年度)	\rightarrow	6,000	(H34年度)
安心して暮らせる環境の市民不満足度	(%)	37.9	(H29年度)	\rightarrow	30.0	(H34年度)
歩きたくなる環境の市民不満足度	(%)	48.6	(H29年度)	\rightarrow	39.0	(H34年度)

